

令和3年度 第2学期終業式 式辞

授業日が83日という1年で一番長い2学期も本日で終わりとなります。みなさんにとっての2学期は長かったでしょうか。それとも短かったでしょうか。

2学期が始まって、すぐに地区英語弁論大会がありました。とても緊張していたはずでしたが、夏休みの練習の成果を十分に発揮し堂々とした発表でした。

また、アントレ学習も充実したものになりました。道の駅羽鳥湖高原やてんえい市での「二岐大福」と「ヤーコンクッキー」の販売は大盛況でした。販売から1時間足らずで売り切れてしまい、びっくりしたことを覚えています。4月から手探りの状態の中で本当に良く取り組んでくれたと思います。大変立派でした。

また、9月下旬の支部中体連新人卓球大会では、他チームとの合同で団体戦を経験することができました。また、個人戦でも自分の力を出すことができました。試合を経験するにつれて、自分の練習における課題を見つけ、その後の練習にさらに打ち込むことができたことと思います。

そして、10月25日に行われた湯中祭では、たった2名にもかかわらず、日頃から空き時間などを使って自主的に練習してきた成果を出し切って、保護者や地域の皆さんを前にして堂々と発表することができました。見てくださった人の感想の中には、「2人とは思えない本当に素晴らしい発表で素敵だった。」というコメントが多く、とてもうれしかったことを覚えています。

その他にも、「みんなの森」や「みんなのお花畑」の看板を立てたり湯本幼稚園で保育実習に取り組んだりしました。先週は、学習旅行で、いわき・相双方面を訪れ、ふくしまの10年前に起こったことを学び、ふくしまの今・未来について深く考える貴重な経験もしました。

みなさんは、2学期のいろいろな経験を通して、ひとつひとつ自分たちで良く考えて行動し、一回りたくましく成長しました。

さて、明日からはいよいよ冬休みです。休み前に先生方からお話があったように、いよいよ自分の進路実現に向けて動き出す時期になってきました。やるべきことをしっかりと行いつつ、自分自身の今後について、家族の人とゆっくりと話す時間がとれるといいと思います。

そのためには、今年の取り組みを十分に振り返ってみましょう。今年なかなかできなかったことは何か、やり残したことは何かを考えてください。そして、さらに自分自身を磨くために、新年の抱負をしっかりと持ち、その抱負に近づけるように一步一步前進していきましょう。

来年も、コロナウイルス感染防止を意識しつつ、「たいお・う・し・て・マス・か」を着実に実践して、感染が広がらないようにしていきましょう。

また、冬休み中には、25日から3日間子ども映画学校があります。いろいろな方に支えてもらっているという感謝の気持ちを持って取り組んでください。

それでは、1月11日の3学期の始業式に、皆さんと元気に会えることを楽しみにしています。

令和3年12月23日

天栄村立湯本中学校長 渡部 幹雄